

# 市民講演会『宇宙の謎に迫る！ 国際リニアコライダー（ILC）計画』

2012年7月、スイスのジュネーブ郊外にあるCERN（欧州原子核研究機構）において、物質に質量を与える原因と考えられているヒッグス粒子らしき物質が発見されました。

この歴史的発見をもたらしたのが、スイスとフランス国境に位置する、直径約9km、円周約27kmのLHC（大型ハドロン衝突型加速器）です。

現在、科学者の間では、このLHCの次世代を担う、長さ約30kmの直線型加速器を、世界に1つだけ建設する国際リニアコライダー（ILC）計画が検討されており、その建設候補地の1つとして、岩盤の良好な脊振山系（福岡県・佐賀県）があげられています。

もしかすると、私たちの身近な場所にできるかもしれない『ILC』とは何か？そして、今年の科学トピックスの1つである『ヒッグス粒子』とは何か？ILCが解明しようとする『宇宙の謎』とは何か？分かりやすくお話しします。



※全長約30kmに及ぶILCのイメージ図

定員60名  
参加無料！  
申込不要！

日時 平成24年12月1日 **土**

18:30～19:30（18:10受付開始）

場所 コミセンわじろ2F第1会議室  
（東区和白丘1-22-27 和白地域交流センター）

講師 かわごえ きよとも  
川越 清以  
（九州大学理学研究院 教授）

主催 九州大学・福岡市

申込 申込不要  
（直接会場にお越しください）



お問い合わせ

九州大学理学研究院素粒子実験研究室  
TEL092-642-2540 FAX092-642-2553